

(2) 将来の広域道路ネットワーク

広域道路ネットワークの施策の方向性を踏まえ、高速自動車国道と一体となって機能する路線など、主要な幹線道路ネットワークとして有効に機能する路線を選定する。

➤ 広域道路選定の基本的考え方

人流・物流の円滑化や活性化によって我が国の経済活動を支えるとともに、激甚化、頻発化、広域化する災害からの迅速な復旧・復興を図るため、主要な都市や重要な空港・港湾を連絡するなど、高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはこれらを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成する道路を高規格道路として選定。また、広域道路のうち、高規格道路以外の道路で、求められるサービス速度が概ね40km/h以上の道路を一般広域道路として選定。

① 高規格道路の考え方

原則として以下のいずれかに該当する道路。

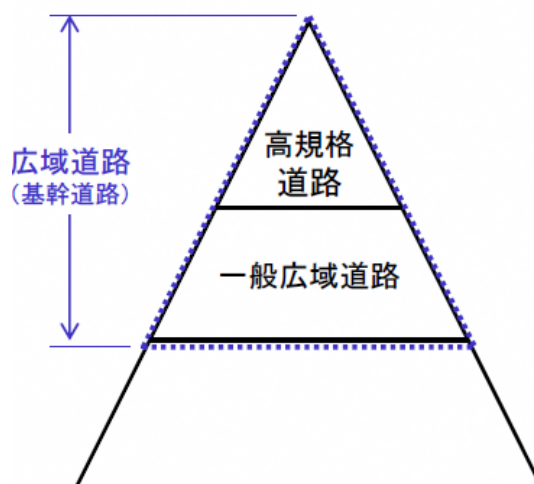
- ・ブロック都市圏間を連絡する道路
- ・ブロック都市圏内の拠点連絡や中心都市を環状に連絡する道路
- ・上記道路と重要な空港・港湾を連絡する道路

② 一般広域道路の考え方

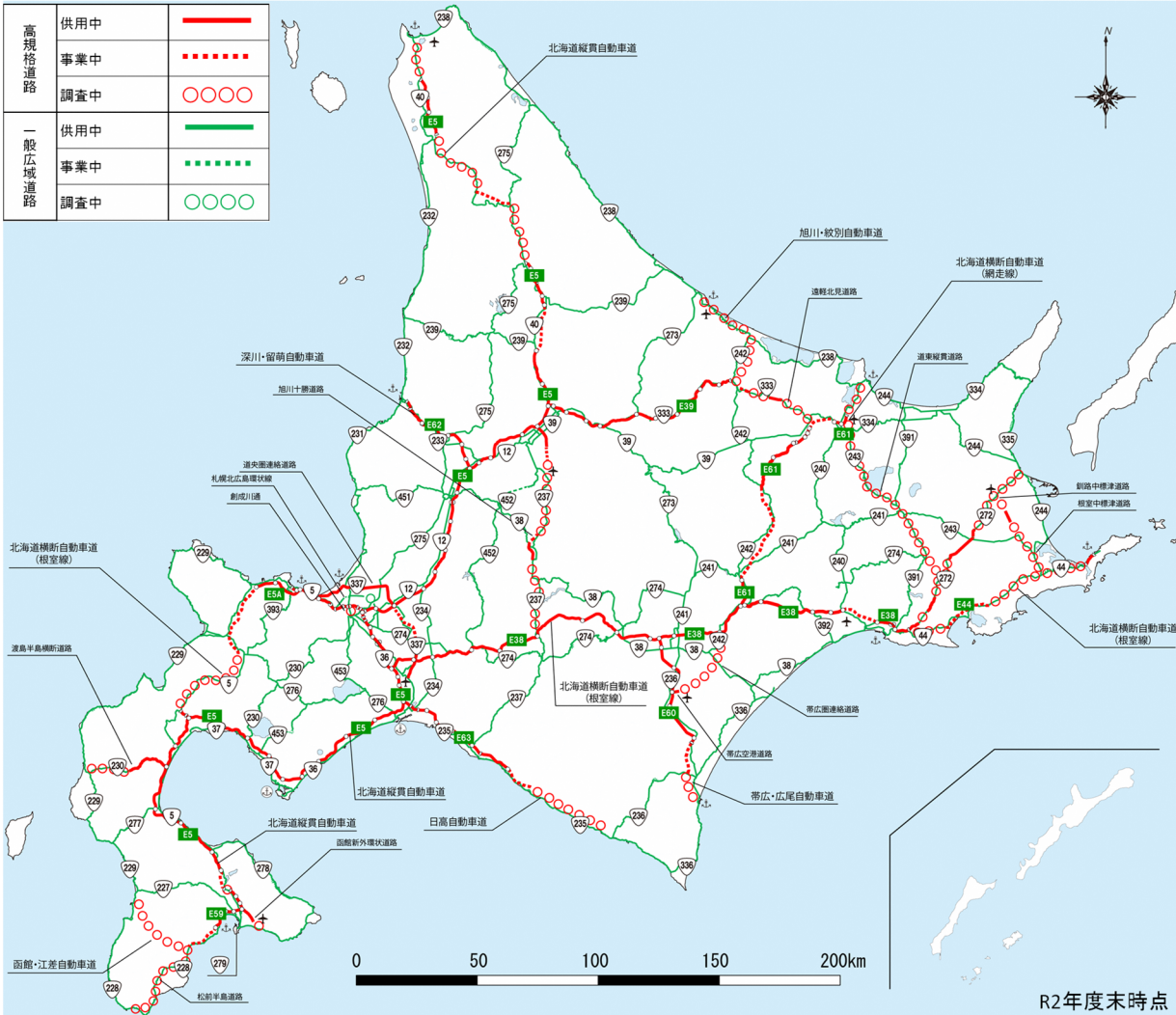
原則として以下のいずれかに該当する道路であって、高規格道路を除く道路。

- ・広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する道路
- ・高規格道路や上記道路と重要な空港・港湾等を連絡する道路

■ 広域道路ネットワークの階層



■新たな広域道路ネットワーク図



■新たな広域道路ネットワーク路線一覧

●高規格道路

- ・北海道縦貫自動車道
- ・北海道横断自動車道（根室線）
- ・北海道横断自動車道（網走線）
- ・日高自動車道
- ・深川・留萌自動車道
- ・旭川・紋別自動車道
- ・帯広・広尾自動車道
- ・函館・江差自動車道
- ・旭川十勝道路
- ・遠軽北見道路
- ・渡島半島横断道路
- ・帯広空港道路
- ・帯広圏連絡道路
- ・釧路中標津道路
- ・創成川通
- ・道央圏連絡道路
- ・道東縦貫道路
- ・函館新外環状道路
- ・根室中標津道路
- ・松前半島道路

●一般広域道路

- ・一般国道5号～453号（道内のすべての国道）
※高規格道路に該当する路線を除く
- ・主要道道 札幌北広島環状線

2. 交通・防災拠点計画

地域における中心的な役割を担う主要な鉄道駅等の交通結節機能の強化策に関わる計画を検討する。また、災害時の物資輸送や避難等の主要な拠点となる道の駅や都市部の交通拠点等について、ソフト・ハードを含めた防災機能の強化策に関わる計画を検討する。

(1) 交通・防災拠点の推進施策

前章の北海道新広域道路交通ビジョンにて整理した「交通・防災拠点の基本方針」に対応する、今後の北海道の交通・防災拠点の推進施策を整理する。

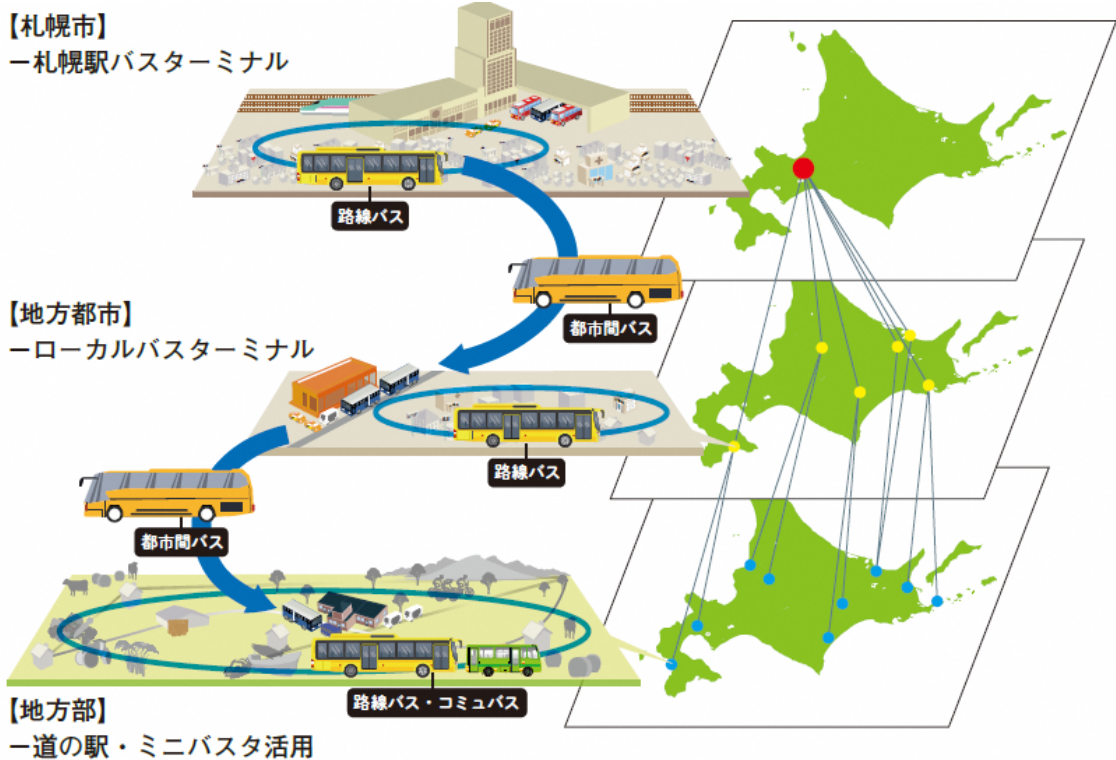
➤ **基本方針①:札幌都心部における交通拠点を整備するとともに、圏域中心都市や地方部の市街地における交通結節機能を強化**

- 北海道は、全国と比較して都市間距離が長大であり、医療等の高次な都市機能を圏域中心都市に依存しているため、地方部においては、生活サービスの享受に長距離移動が必要。
- このような中、全国よりも先行している人口減少・高齢化の影響から、地方部における集落の衰退や生活のための移動手段の確保が課題となっている。
- 一方で、2030年度末の北海道新幹線札幌延伸による効果を全道に波及させるため、札幌駅と高速道路のアクセス性の改善を図るとともに交通結節機能の強化が必要。
- こうしたことから、札幌駅前バスターミナルの整備を推進するとともに、圏域中心都市等における交通ターミナルや地方部における乗継拠点などを一体的に捉え、階層的に交通結節機能の強化を図る。
- 機能強化策として、北海道新幹線札幌延伸のほか、道内7空港の一括運営委託の開始などに伴う新たな都市間の広域移動や都市内移動などを一体的に捉え、地域の実情に応じた機能を有する施設の構築を核とした階層的な交通拠点の整備や拠点へのアクセス道路の整備を推進。
- 交通結節機能の強化を図り、公共交通の利用環境を向上させることにより、CO₂の排出量削減にも寄与する。

①-1:札幌駅における交通結節機能の強化

①-2:交通結節点としての拠点整備を階層的に推進

■階層的な交通結節機能強化のイメージ



■札幌駅交通ターミナルの整備方針(案)

世界とのゲートウェイ・札幌

『北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備』

～全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支えます～

高速道路と連携した全道各地へインバウンド観光等の新たな人流を創出

中心アクセス道路の強化

新たなバスターミナル

分散するバス乗降場を集約

① 観光機能の強化

- ・インバウンドを含む観光案内所の設置
- ・観光MaaSの導入 等

+

② 防災機能の強化

- ・帰宅困難者等の受入空間
- ・情報提供施設の整備 等

+

③ 多様なモビリティとの連携

- ・シェアサイクル
- ・新たなモビリティ 等

出典：札幌駅交通ターミナル検討会資料